

# 業務継続計画(BCP)

## 自然災害編

(介護サービス類型：共通)

法人名 : 独立行政法人地域医療機能推進

施設・事業所名 : 埼玉メディカルセンター附属介護老人保健施設

代表者名 : 施設長 児玉 隆夫

管理者名 : 施設長 児玉 隆夫

所在地 : 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-2-7

電話番号 : 048-834-3700

作成日 : 2023年11月30日

改定日 : 2023年12月22日

: 2024年04月01日

# 目次

<b>1.</b>	<b>総論</b>	<b>1～3</b>
1.1	基本方針	1
	全体像	1
1.2	推進体制	1
1.3	リスクの把握	1～2
1.4	優先業務の選定	2～3
1.5	研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し	3
<b>2.</b>	<b>平常時の対応</b>	<b>4～8</b>
2.1	建物・設備の安全対策	4
2.2	電気が止まった場合の対策	5
2.3	ガスが止まった場合の対策	5
2.4	水道が止まった場合の対策	6
2.5	通信が麻痺した場合の対策	7
2.6	情報システムが停止した場合の対策	7
2.7	衛生面(トイレ等)の対策	8
2.8	必要品の備蓄	8
2.9	資金手当て	8
<b>3.</b>	<b>緊急時の対応</b>	<b>9～14</b>
3.1	BCPの発動基準	9
3.2	行動基準	9
3.3	対応体制	10
3.4	対応拠点	10
3.5	安否確認	10
3.6	職員の参集基準	11
3.7	施設内外での避難場所・避難方法	12～13
3.8	重要業務の継続	14
3.9	職員の管理	14
3.10	復旧対応	14
<b>4.</b>	<b>他施設との連携</b>	<b>15</b>
4.1	連携体制の構築	15
4.2	連携対応	15
<b>5.</b>	<b>地域との連携</b>	<b>16</b>
5.1	被災時の職員の派遣	16
5.2	福祉避難所の運営	16
	補足 5 対応フローチャート	
	補足 6 ハザードマップ	
	補足 7 自施設で想定される影響	
	補足 8 優先業務の検討	
	補足 9 建物・設備の安全対策(地震・水害)	
	補足10 電気、ガス、生活用水が止まった場合の対策	
	補足11 利用者の安否確認シート	
	補足12 職員の安否確認シート	
	補足13 重要業務の継続	
	補足14 連携体制の構築	
	様式 1 推進体制の構成メンバー	
	様式 2 施設外・事業所外連絡リスト	
	様式 2-2 設備等保守担当業者一覧	
	様式 5 (部署ごと)職員緊急連絡網	
	様式 5-2 (系統図)職員緊急連絡網	
	様式 6 備蓄品リスト	
	様式 6-災害 備蓄品リスト(災害用)	
	様式 7-災害 業務分類(優先業務の選定)(災害用)	
	様式 9 災害時利用者一覧表(安否確認優先順位)	

## 1. 総論

### 1. 1 基本方針

本計画に関する基本方針を以下のとおりとする。

- ①利用者の安全確保  
利用者は重症化リスクが高く、災害発生時に深刻な被害が生じるおそれがあることに留意して安全の確保に努める。
- ②サービスの継続  
利用者の生命、身体の安全、健康を守るために最低限必要となる機能を維持する。
- ③職員の安全確保  
職員の生命を守り、生活の維持に努める。

#### 全体像

自然災害（地震・水害等）BCPのフローチャート 参照

【補足5】

### 1. 2 推進体制

平常時の災害対策の推進体制を記載する。

- ・継続的かつ効果的に取り組みを進めるために推進体制を構築する。  
推進体制の構成メンバー 参照

【様式1】

### 1. 3 リスクの把握

(1) ハザードマップなどの確認

- ・地震、液状化については、さいたま市ハザードマップ参照
- ・津波は、遡上の危険性なし
- ・土砂崩れについても、高低差がないため危険性なし

【補足6】

## (2) 被害想定

### 【自治体公表の被災想定】

さいたま市直下型地震 震度6強	
[死者]	
・浦和区676人【内訳・・・揺れ107人（うち屋内11人）、急傾斜地0人、火災566人、屋外2人】	
・さいたま市全体2,044人【内訳・・・揺れ795人（うち屋内72人）、急傾斜地0人、火災1,236人、屋外13人】	
[負傷者]	
・浦和区1,376人【内訳・・・揺れ729人（うち屋内253人）、急傾斜地0人、火災582人、屋外65人】	
うち重傷者303人【内訳・・・揺れ115人（うち屋内49人）、急傾斜地0人、火災163人、屋外24人】	
[交通被害]	
道路	
・第一次緊急輸送道路（高速、国道等4車線道路とこれを補完する広域幹線道路）	23箇所被害
・第一次緊急輸送道路（地域間の支援活動としてネットワークされる主要路線）	3箇所被害
・第二次緊急輸送道路（地域の防災拠点（役所、病院、防災基地等を連絡する路線）	4箇所被害
・第三次緊急輸送道路（第一次と第二次を補完する路線）	16箇所被害
鉄道	
・JR在来線（京浜東北線、埼京線、武蔵野線）	181箇所被害
・JR新幹線	6箇所被害
・東武野田線	23箇所被害
・埼玉新都市交通	13箇所被害
・埼玉高速鉄道	4箇所被害
橋梁：想定資料なし	
[ライフライン]	
上水： 17日（震度6程度）	※発生一日後に約20%断水
下水： 23日（震度6程度）	※発生一日後に約5%機能喪失
電気： 1週間（震度6程度）	※市内約20%が停電
ガス： 2週間（震度6程度）	※市内77%が供給停止
通信： 1週間（震度6程度）	

### 【自施設・事業所で想定される影響】

老健施設	耐震構造ではあるが、外壁のヒビ割れ、落下等
併設病院	耐震構造ではあるが、外壁のヒビ割れ等

【補足7】

## 1. 4 優先業務の選定

### (1) 優先する事業

<優先する事業>
(1) 入所サービス
(2) さいたま市との災害時における養配慮者の受入に関する協定書に基づき福祉避難所を設置する。→別添「福祉避難所設置・運営マニュアル」参照
<当座停止する事業>
(1) 通所サービス

【様式7】



## 2. 平常時の対応

介護サービスを中断させないためには、介護サービスを提供するにあたり必要な要素（建物・設備、ライフライン）を守ることが重要。

### 2. 1 建物・設備の安全対策

#### (1) 人が常駐する場所の耐震措置

<建築年> 1998年5月 建物定期検査にて指摘なし  
 <構造規模・延床面積> 鉄筋コンクリート造（RC）地上3階 4,881.6㎡  
 <入所定員> 100名(短期入所含む)  
 <通所定員> 35名/日

【補足9】 建物・設備の安全対策（地震、水害）参照

【補足9】

#### (2) 設備の耐震措置

- ・居室、共有スペース、事務所など職員・入所者・利用者が利用するスペースでは、設備・什器類に転倒・転落・破損等の防止措置を講じる。
- ・不安定に物品を積み上げず、日頃から整理整頓を行い、転落を防ぐ。
- ・破損して飛び散った場合は特に必要な箇所（ガラス天井など）や避難経路には飛散防止フィルムなどの措置を講じる。
- ・**消火器**等の設備点検及び収納場所の確認を行う。

【補足9】

※設備等に関しては、定期的な日常点検を実施する。

#### (3) 水害対策

- 定期的な日常点検を実施する。
  - ・北側駐車場の排水不良対策→建物の入口には、土のう袋を敷詰め、水の侵入を防ぐ。
  - ・外壁にひび割れ・欠損・膨らみはないか
  - ・開口部の防水扉が正常に開閉するか
  - ・暴風による危険性の確認
  - ・外壁の留め金具に錆や緩みはないか
  - ・屋根材の留め金具にひびや錆はないか
  - ・窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付しているか
  - ・周囲に倒れそうな樹木や飛散しそうな物はないか

【補足9】

## 2. 2 電気が止まった場合の対策

【補足10】電気が止まった時の稼働設備 自家発電機（ヤンマーディーゼル製YAP250G）

自家発電機 燃料重油490ℓを使用し10.6時間稼働可能

自家発電により稼働させるべき設備および機器

- ・喀痰吸引器
- ・テレビ、パソコン（情報収集）
- ・空調機器（暖房器具、扇風機、サーキュレーター等）
- ・冷蔵庫、冷凍庫（代替：保冷剤）
- ・照明器具（代替：懐中電灯、ランタン）

【医療的配慮が必要な入所者・利用者】

人口呼吸器、酸素療法、喀痰吸引等については、併設病院へ受入れを要請する

- ・緊急時の燃料確保策を講じる。

検討事項として、24時間営業のガソリンスタンド等の確認。非常用自家発電機の燃料供給に係る納入業者等と優先供給協定を締結する。

【補  
式足  
61  
災害  
】

## 2. 3 ガスが止まった場合の対策

使用ガス種類・・・都市ガス

対応策（代替策）

暖房・・・毛布・使い捨てカイロ・可能であれば灯油ストーブと灯油備蓄。

調理・・・カセットコンロを使用（3台備蓄）。

調理が不要な食料（ゼリータイプの高カロリー食等）を備蓄。

【補  
式足  
61  
災害  
】

## 2. 4 水道が止まった場合の対策

### (1) 飲料水

#### [飲料水の確保]

各フロアに利用者および職員用のペットボトルの水を備蓄（定期的に入替を行う）

2階	2ℓ×6本	27ケース	162本 (324ℓ)
3階	2ℓ×6本	27ケース	162本 (324ℓ)
デイ	2ℓ×6本	16ケース	96本 (192ℓ)
職員	2ℓ×6本	16ケース	96本 (192ℓ)
合計		86ケース	516本 (1032ℓ)

※3日分を想定

- ・近隣に給水車が来た時に、配給を受けられるようポリタンク等を用意する。
- ・近隣に給水車が来た時に、用意したポリタンク等で飲料水の確保を行う。

#### [その他対策]

- ・調理に水を必要としない流動食等を備蓄する。

### (2) 生活用水

貯水槽（受水槽） 容量…35.4立方メートル（35,400ℓ 1m<sup>3</sup>=1000リットル）

#### [生活水の確保]

- ・近隣に給水車が来た時に、配給を受けられるようポリタンク等を用意する。
- ・近隣に給水車が来た時に、用意したポリタンク等で飲料水の確保を行う。
- ・災害時協力井戸（酒造会社等）…近隣に存在を確認する。
- ・衛生面を考慮しつつ、近隣に地下水（井戸水）の存在を確認する。

#### [その他対策]

排泄 … 簡易トイレやオムツを使用  
食事 … 紙皿・紙コップの使用  
入浴 … 清拭で対応

【補  
式足  
61  
災害  
】

【補  
式足  
61  
災害  
】

## 2. 5 通信が麻痺した場合の対策

### [通信の確保]

- ・被災時は固定電話や携帯電話が使用できなくなる可能性あり、複数の連絡手段で関係機関と連絡が取れるように準備する。
- ・衛星電話の使用（契約の有無）を確認する。

### [代替え通信手段]

- ・携帯電話メール、公衆電話、災害伝言ダイヤル171
- ・衛星電話、MCA無線機、災害時優先電話（検討対象）

携 帯 式 手 機  
カ 式 足  
ー 6 1  
ド 災 0  
（ 害 ）  
様 式  
な し  
）

## 2. 6 情報システムが停止した場合の対策

### [対応策]

- ・介護システム、電子カルテシステムのサーバは併設病院3階設置のため浸水リスクは無し
- ・電子カルテ、介護システムクライアントについては、浸水リスクは無し
- ・紙媒体の療養録を並行使用している。
- ・紙媒体である療養録も浸水リスクは無し
- ・システムデータのバックアップはサーバにてミラーリングにて対応済

- BCP等の災害対策の文書類はデータでの保存だけでなく、すぐに使えるよう印刷してファイル等に綴じて保管する。

### [その他対応策]

いざという時に持ちだす重要書類をあらかじめ決めておく。

様 式 足  
6 1  
災 0  
害 ）

## 2. 7 衛生面（トイレ等）の対策

[対応策] ※被災時は、汚水・下水が流せなくなる可能性あり

〈利用者〉・電気・水道が止まった場合、速やかに簡易トイレを設置し、そちらを使用するよう案内する。

（周知が遅れると、汚物があふれて処理業務が発生するため）

・排泄物や使用済みオムツなど衛生面を配慮し、一時的に保管場所を決めておく

〈職員〉・職員のトイレ対策としては、簡易トイレ・仮設トイレを使用する

・女性職員のために生理用品を備蓄しておく

[排泄物対応策]

・排泄物などは、ビニール袋などに入れて密閉し、利用者の出入りの無い空間へ、衛生面に留意して隔離、保管しておく。

・保管場所：ベランダの端、中庭の端

【補  
足  
6  
1  
災  
害  
】

## 2. 8 必要品の備蓄

【様式6】参照

●備蓄品によっては、賞味期限や使用期限があるため、担当者を決めて、定期的にメンテナンスを行い、リストを見直す。

【災  
害  
6  
】

## 2. 9 資金手当て

・万が一に備えての手元資金（現金）は総務企画課および経理課と相談の上、決定し準備する。

・自施設が加入している保険内容（カバーされる範囲や補償内容等）の確認。

### 3. 緊急時の対応

職員が不足し、ライフラインが停止することを踏まえ、重要業務を如何に優先して取り組むかがポイント。

緊急時の対応では、以下のステップで検討する。

<STEP1> 初動対応の事前準備	3.1～3.4
<STEP2> 人命安全確保対応の徹底	3.5、3.7
<STEP3> 重要業務の継続	3.6、3.8、3.9
<STEP4> 復旧対応	3.10

#### 3. 1 B C P 発動基準

●リスク把握で洗い出したリスクに対し、発動基準を決める

[地震]

- ・本書に定める緊急時体制は、さいたま市周辺において、震度6以上の地震が発生したとき。

[水害]

- ・施設所在地の都道府県で大型台風の直撃が見込まれる場合。
- ・気象庁の大雨・洪水注意報が発令した場合。

#### 3. 2 行動基準

- ①日勤帯…必要に応じて部門毎に連絡、招集を行う。
  - ②夜間休日…必要に応じて各所属長に連絡し、招集の可否を確認。招集指示があれば連絡網にて行う。
  - ③地震の場合の自主参集の基準は震度6とする。なお、以下3項目を踏まえての参集を検討する。
  - ④大規模災害発生時、休日等により自宅にいる職員は、参集か待機かを各自で判断する。まずは、自身と家族の安全を確保することを先決とする。
  - ⑤施設から緊急招集の連絡があった場合においては、自身と家族の安全を確保した後に出勤し災害対策本部の指示に従う。
  - ⑥出勤不可能の場合は、その旨を伝え自宅待機とする。
  - ⑦各幹部職、各部署責任者については可能な限り参集を行う。
- 〈参集後のルール〉
- ・自主参集した職員は、災害対策本部に集合して参集登録を行う。
  - ・参集登録を済ませた職員は災害対策本部の指示に従う。

【様式1】

携帯カード（様式なし）

### 3. 3 対応体制

【様式1】 推進体制の構成メンバーを参照。

【  
様  
式  
1  
】

### 3. 4 対応拠点

[地震] ①1階ロビー ②北側駐車場  
[水害] ①2階以上にスペースを確保するか、水害の被害が及ばない場所

### 3. 5 安否確認

#### (1) 利用者

[利用者]

- ・利用者の安否確認を速やかに行う。
- ・各フロアリーダーが安否確認を行い、副師長・師長・災害対策本部に報告。

【  
補  
足  
1  
1  
】

#### (2) 職員

[職員]

- ・職員の安否確認を速やかに行う。
  - 〈施設内〉職員の安否確認は、利用者の安否確認とあわせて各階のリーダーが点呼を行い、看護師長に報告する。
  - 〈自宅等〉自宅等で被災した場合は、①電話 ②携帯メール ③災害用伝言ダイヤルで、施設に自身の安否情報を報告する。
    - ※報告する事項は、「自身・家族が無事かどうか」「出勤可否」

【  
補  
足  
1  
2  
】

### 3. 6 職員の参集基準

携 帯 機 器  
カ 式  
| 5  
ド  
（ 様 式 な し ）

#### [初動職員・役割分担]

- ・さいたま市周辺で震度6以上の地震が発生した場合、通常の組織から災害対応がスムーズに行える対策本部体制に移行できるように、事前に災害時の対策本部体制を確立する。
- ・夜間時に参集可能な職員を決め方。
  - 自宅から施設までの距離が近い
  - 施設までの道のりで災害に遭う危険性が低い 等
- ・参集状況に応じて対策本部体制を作り、掲示する。
- ・本部長が不在の場合は、あらかじめ本部長の代わりとなる責任者を決める。

#### (ア) 昼間に地震が発生した場合

- ・日常の組織から事前に決めておいた対策本部体制に移行し、行動を開始する。
- ・外出中の職員は、戻り次第、本部長の指示を受けて行動を開始。
- ・外出先から施設に戻れない場合は、事前に定められた連絡方法に従って状況を報告し、「施設に戻る」、「自宅に戻る」、「周辺被災者の救護活動に当たる」などを自己判断で行動する。

#### (イ) 早朝、夜間又は休日に地震が発生した場合

- ・参集基準

##### (待機)

基準…施設所在市町村内で震度5を記録又は県内で震度6弱以上を記録したとき

人員…夜勤者（夜勤職員は、看護師長に状況を連絡。）

連絡…副施設長、看護師長の判断に基づき、職員連絡網により参集を要する職員に連絡。

##### (警戒参集)

基準…施設所在市町村内で震度6弱を記録したとき

#### 【職員間の非常時連絡方法のルール】

非常時には参集できる、できないにかかわらず、必ず連絡すること。

※連絡文案の例

例1 ○○です。今△△にいます。後▽▽分で到着します。

例2 ○○です。■■のため参集できません。××にて待機します。

※老健代表メールアドレス rouken@saitama.jcho.go.jp

●下記に該当する場合は、参集基準に該当する場合においても、原則、参集の対象外とする。

- ・自宅が被災した場合
- ・自身または家族が負傷し、治療等が必要な場合

### 3. 7 施設内外での避難場所・避難方法

勤務者の少ない祝祭日や夜間、あるいは荒天などを想定して検討しておくことが望ましい。

#### (1) 施設内

避難行動計画に従う

<当初の避難>

- ①建物内の安全スペースへ避難
- ②施設外の安全な広場等へ避難
- ③浸水被害を受けない場所へ避難

#### (2) 施設外

避難行動計画に従う

<本格的な避難>

- ①建物内で待機
- ②施設敷地内の安全な広場等へ避難
- ③広域避難地へ避難 (避難所一覧)

※夜間の屋外への避難

夜間の避難行動に備え、災害時には近所の応援が迅速に得られるよう、日頃から自主防災組織や地元消防団等との連携を強めておく。

また、夜間の屋外への避難にあたっては、目の不自由な利用者に対しても、安全かつ迅速に誘導できるよう、職員は明るい色の上着を着用したり、蛍光塗料を使ってルート誘導を行うなどの工夫を行う。

(3) その他

- 水害の場合、行政などが出す避難情報を理解し、避難のタイミングを検討しておく。  
避難する時間も考慮して考える。  
施設所在地の都道府県で大型台風の直撃が見込まれる場合。  
警戒レベル2の気象庁の大雨・洪水注意報が発令した場合。

- 2021年5月から警戒レベルの定義が見直されました。下記のホームページを参照してください。

<https://www.ima.go.jp/ima/kishou/knownow/bosai/alertlevel.html>

### 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報		相当する警戒レベル		
5	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> すでに安全が確保できず、命の危険が大きい場合、所が安全が確保できず、移動等する。	<b>緊急安全確保</b> ※必ず安全確保の措置を講ずる	大雨 特別警報	守身必也 (緊急避難)	氾濫 発生情報	5 相当	
<警戒レベル4までに必ず避難!>							
4	<b>危険な場所から全員避難</b> 過去の重大な災害の発生時に陥る状況、この段階までに避難を完了しておく。 台風などの暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	<b>避難指示</b> 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害 警戒情報	高潮 特別警報	極めて危険 非常 に危険	氾濫 危険情報	4 相当
3	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> 高齢者等以外の人にも必要に応じて、自治体の指示や見合わせがなくなり、避難の準備が完了し、自主的に避難する。	<b>高齢者等避難</b> 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	大雨警戒 洪水警戒	大雨警戒に 切り替える 可能性がある 注意報	警戒 (警報級)	氾濫 警戒情報	3 相当
2	<b>自らの避難行動を確認</b> ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)  第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨に備え 切り替える 可能性がある 注意報	大雨注意報 洪水注意報	注意 (注意報級)	氾濫 注意情報	2 相当
1	<b>災害への心構えを高める</b>	心構えを一段高める 要員の連絡体制を確認	早期 注意情報 (警報級の 可能性)	高潮 注意報			

「避難情報に関するQ&A」(内閣府)と「基本防災気象庁」の作成

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報・土砂災害警戒情報が発令された場合は、警戒レベル3(高潮特別警報)に相当する。  
※2 「極めて危険」(警報級)が発令された場合は避難を完了したことが確認でき、危険な人員が避難区域/警戒区域の警戒レベル5緊急安全確保の対象区域の対応に活用することがあります。

### 3. 8 重要業務の継続

- 被災時の厳しい状況でも、入所者・利用者の生命・健康を維持するために必ず実施しなければならない最低限の業務を「重要業務」として継続を目指す。
  - 検討結果をまとめる。
- 【補足13】 重要業務の継続に記載する。

【補足13】

### 3. 9 職員の管理

- ①休憩・宿泊場所
  - ・休憩場所： 1階会議室、第1相談室、第2相談室、職員休憩室、家庭介護室
  - ・宿泊場所： 1階デイケアのエリア、2階リハビリ訓練室
- ②勤務シフト
  - ・多職種の協力の基業務分担し、長時間労働による職員の体調と負担軽減に努める。
  - ・最低週1日は休日とする。

### 3. 10 復旧対応

- ①破損箇所の確認
  - 被害のあった箇所について写真およびメモをとり記録する。
- ②業者連絡先一覧の整備
  - 各業者の連絡参照。

【補足14】 施設外・事業所外連絡リスト
- ③情報発信（関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応）
  - 副施設長のもと、対策本部にて行う。
  - 風評被害を招く恐れもあるため、広報・情報班が、一元的に丁寧な対応や説明を行う。

【補足14】

## 4. 他施設との連携

### 4. 1 連携体制の構築

●地域において相互支援できるように、さいたま市介護保険課及び埼玉県介護保健施設協会の協力により「さいたま市介護老人保健施設連絡会(18法人)」を発足し年2回当施設において協議を行い、日頃から施設・事業所を取り巻く協力関係を地域で相互に支援し合うネットワークを構築している。

【  
補  
足  
1  
4  
】

### 4. 2 連携対応

#### ①事前準備

- ・連携先と可能な範囲で相互に利用者の受入を行う。

#### ②入所者・利用者情報の整理

- ・利用者用カルテで対応する。

#### ③共同訓練

- ・北浦和5丁目自治会の方とともに定期的に訓練を行い、施設の実状を理解いただき、対応力を高めている。

カ  
リ  
用  
ド  
者  
  
(  
様  
式  
な  
し  
)

## 5. 地域との連携

### 5. 1 被災時の職員の派遣

(災害福祉支援ネットワークへの参画や災害派遣福祉チームへの職員登録)

- 災害派遣福祉チーム(DWAT)への登録を検討中。

### 5. 2 福祉避難所の運営

#### ①福祉避難所の指定

- 協定書名: 災害時における要配慮者の受入に関する協定書
- 協定締結日: 平成31年3月25日
- 設置・運営マニュアル: 別添参照
- 災害時の対応: さいたま市と当施設受入カラー図面を使用して図上訓練を実施。年2回
- 受入可能人数: 4名

※(参照)さいたま市福祉避難所設置・運営マニュアル

(参照)福祉避難所の確保・運営ガイドライン 内閣府 (防災担当)

自然災害(地震・水害等)BCPのフローチャート

1. 総論	
(1)基本方針	
(2)推進体制	
(3)リスクの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ハザードマップなどの確認</li> <li>②被災想定</li> </ul>
(4)優先業務の選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>①優先する事業</li> <li>②優先する業務</li> </ul>
(5)研修・訓練の実施	<p style="text-align: center;"><b>BCPの検証・見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①研修・訓練の実施</li> <li>②BCPの検証・見直し</li> </ul>



2. 平常時の対応	
(1)建物・設備の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人が常駐する場所の耐震措置</li> <li>②設備の耐震措置</li> <li>③水害対策</li> </ul>
(2)電気が止まった場合の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自家発電機が設置されて いない場合</li> <li>②自家発電機が設置されて いる場合</li> </ul>
(3)ガスが止まった場合の対策	
(4)水道が止まった場合の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>①飲料水</li> <li>②生活用水</li> </ul>
(5)通信が麻痺した場合の対策	
(6)システムが停止した場合の対策	
(7)衛生面(トイレ等)の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>①トイレ対策</li> <li>②汚物対策</li> </ul>
(8)必要品の備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>①在庫量、必要量の確認</li> </ul>
(9)賃金手当て	



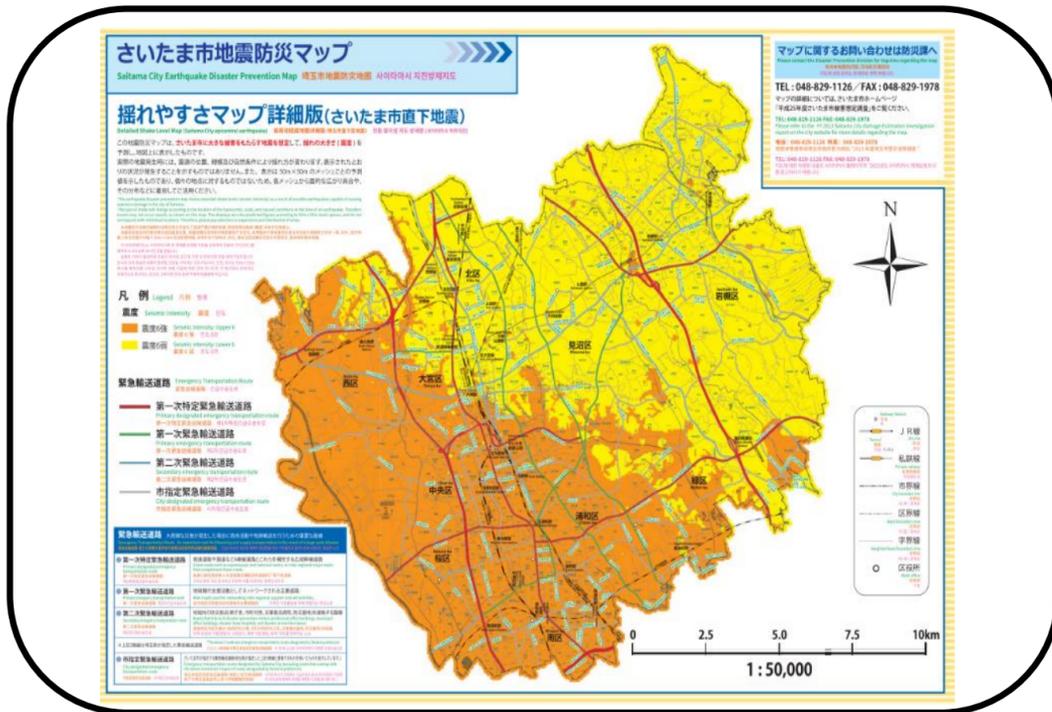
3. 緊急時の対応	
(1)BCP発動基準	
(2)行動基準	
(3)対応体制	
(4)対応拠点	
(5)安否確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者の安否確認</li> <li>②職員の安否確認</li> </ul>
(6)職員の参集基準	
(7)施設内外での 避難場所・避難方法	
(8)重要業務の継続	
(9)職員の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>①休憩・宿泊場所</li> <li>②勤務シフト</li> </ul>
(10)復旧対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>①破損個所の確認</li> <li>②業者連絡先一覧の整備</li> <li>③情報発信</li> </ul>
【通所サービス固有事項】	
【訪問サービス固有事項】	
【居宅介護支援サービス固有事項】	

4. 他施設との連携	
(1)連携体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>①連携先との協議</li> <li>②連携協定書の締結</li> <li>③地域のネットワーク等の 構築・参画</li> </ul>
(2)連携対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事前準備</li> <li>②入所者・利用者情報の整理</li> <li>③共同訓練</li> </ul>

5. 地域との連携	
(1)被災時の職員派遣	
(2)福祉避難所の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>①福祉避難所の指定</li> <li>②福祉避難所開設の事前準備</li> </ul>

補足6：ハザードマップ

地震 さいたま市直下型地震 震度6



津波 さいたま市到達●分、高さ●m (東京湾北部地震)

津波遡上の可能性なし

さいたま市のハザードマップにも掲載なし

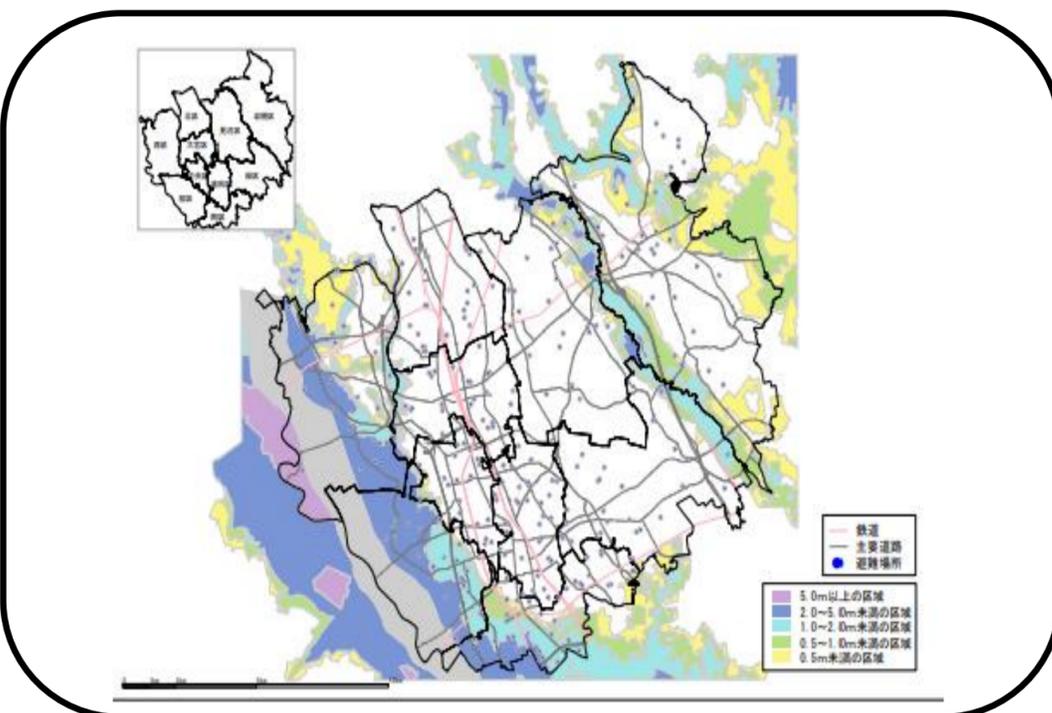
液状化 強(建物傾斜、下水道使用不可)



土砂崩れ 施設までの道路が土砂災害のリスク無し

地域に高低差がないためリスクなし

水害(洪水) 浸水深さ: 0~5m



高潮、溜池等 リスク無し

内陸部のため高潮被害はなし

近隣にため池の存在なし



補足 8 : 優先業務の検討

優先業務	必要な職員数[人]			
	朝	昼	夕	夜間
与薬介助	1	1	1	
排泄介助	3	3	3	
食事準備・介助	2	2	2	
見守り	1	1	1	2
移乗	1	1	1	
合計(名)	8.0	8.0	8.0	2.0

補足9：建物・設備の安全対策（地震、水害）

建物関連

対象	対応策	備考
躯体(柱、壁、床)	柱の補強、X型補強を行う	
天井	天井の石膏ボードの落下防止を行う	
窓	廊下、出入口のガラス飛散防止フィルムの貼付け	

什器(家具、キャビネット・机)、パソコン等

対象	対応策	備考
事務所の什器	キャビネットは転倒防止のため壁に固定する	
食堂の食器棚	壁を補強して転倒防止のため壁に固定する ガラス飛散防止フィルムの貼付け	
風呂場の棚	棚を壁に固定する	
風呂桶	床に固定する	
利用者居室の家具	家具の壁に固定する	
パソコン本体	机に固定する 重要なデータは、バックアップをとり、保管する	
ディスプレイ	机に固定する	

建物外部の施設

対象	対応策	備考
受水槽	1階平地にあり、土砂災害のリスクなし	
L P ガス	L P ガスの使用箇所なし	
燃油タンク	地面への固定確認済	

水害対策関連

対象	対応策	備考
出入口	建物入口に止水板・防水扉配備	2024.08月購入
施設周辺	側溝や排水溝は掃除	
逆流防止	風呂、トイレ等の排水溝からの逆流防止	
屋外重要設備	受電・変電設備の浸水対策	

補足10：電気、ガス、生活用水が止まった場合の対策

電気

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
医療機器： 喀痰吸引、人工呼吸器など	自家発電機：250Kw x 10.6時間使用可能。 燃料はA重油。購入先…鹿島屋 ・電気なしでも使える代替品(乾電池や手動で稼働するもの)の準備や業務の方策を検討する。	医療機器等へ使用する予備バッテリー 2024.08月_ポータブルバッテリー購入
情報機器： パソコン、テレビ、インターネットなど		
冷蔵庫・冷凍庫 夏場は暑さ対策として保冷剤等を用意		
照明器具、冷暖房器具	懐中電灯、カイロ、保冷剤	【様式6】-災害に記入
その他、代替の電源を考える	自動車のバッテリー、自動車のシガレット電源、乾電池。	スマホの充電、照明には利用できる 2024.08月_ポータブルバッテリー購入

ガス

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
暖房機器	毛布、使い捨てカイロ、灯油ストーブ	暖房器具とその燃料を準備
調理器具	カセットコンロ	火力が弱いので大量の調理には向かない
給湯設備	入浴は中止し、清拭	
その他、代替の熱源を考える		

飲料水

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
飲料	日に2リットルをペットボトルで取る	
食事	調理が不要な食料 (ゼリータイプの高カロリー食等)を備蓄。	
口腔ケア	職員数に応じてサービス提供	

生活用水

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
入浴	当面休止とし清拭	
トイレ	簡易トイレ、おむつを使用	バケツで流す場合 大14L x 1回、小9L x 3回 = 41L/日/人
清掃、消毒	日に●リットルを使用	要確認

通信

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
スマートフォン	発電機(ポータブル電源)で充電 2024.08月_ポータブルバッテリー購入	車のシガレット電源の変換機使用も検討
MCA無線機		検討事項

補足10：電気、ガス、生活用水が止まった場合の対策

情報システム

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
パソコン	発電機で非常用電源を供給	2024.08月_ポータブルバッテリー購入
プリンター	発電機で非常用電源を供給	2024.08月_ポータブルバッテリー購入
W i F i	発電機で非常用電源を供給	

衛生面

稼働させるべき設備及び必要な備品	代替策	備考
水洗トイレ	仮設トイレ	
	簡易トイレ	
	オムツ	

補足 1 1 : 利用者の安否確認シート

負傷している場合は、医療機関へ搬送を要請する

フロア：

エリア・ユニット：

No	ご利用者氏名	部屋番号	安否確認	容態・状況
1			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
2			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
3			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
4			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
5			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
6			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
7			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
8			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
9			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
10			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
11			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
12			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
13			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
14			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
15			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
16			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
17			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
18			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
19			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	
20			無事 ・ 負傷 ・ 不明 ・ 外出 ・ 死亡	

補足12：職員の安否確認シート

フロア：

エリア・ユニット：

No	氏名	安否確認	自宅状況	家族の安否	出勤可否
1		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
2		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
3		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
4		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
5		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
6		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
7		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
8		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
9		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
10		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
11		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
12		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
13		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
14		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
15		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
16		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
17		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
18		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
19		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )
20		無事・負傷	問題なし	無事・負傷/死亡	可能・不可能
		不明・死亡	半壊・全壊	備考( )	備考( )

補足 1 3：重要業務の継続

様式 7-災害と同じ復旧想定にする。この場合、震度 6 で停電 3 日、断水 7 日

震度 7 の想定は、停電 7 日、断水 3 週間

経過 目安	夜間 職員のみ	発災後 6 時間	発災後 1 日	発災後 3 日	発災後 7 日
出勤率	出勤率3%	出勤率30%	出勤率50%	出勤率70%	出勤率90%
在庫量	在庫100%	在庫90%	在庫70%	在庫20%	在庫正常
ライフライン	停電、断水	停電、断水	停電、断水	断水	復旧
業務基準	職員・入所者の 安全確認のみ	安全と生命を 守るための 必要最低限	食事、排泄中心 その他は休止 もしくは減	一部休止、減とするが、 ほぼ 通常に近づける	ほぼ通常どおり
給食	休止	必要最低限の メニューの準備	飲用水、栄養補給食品、 簡易食品、炊き出し	炊き出し 光熱水復旧の範囲で調理 開始	炊き出し 光熱水復旧の範囲で調理 開始
食事介助	休止	応援体制が 整うまでなし 必要な利用者に介助	必要な利用者に介助	必要な利用者に介助	必要な利用者に介助
口腔ケア	休止	応援体制が 整うまでなし	応援体制が 整うまでなし	適宜介助	ほぼ通常どおり
水分補給	応援体制が 整うまでなし	飲用水準備 必要な利用者に 介助	飲用水準備 必要な利用者に 介助	飲用水準備 必要な利用者に 介助	飲用水準備 ほぼ通常どおり
入浴介助	失禁等ある利用者は清拭	適宜清拭	適宜清拭	適宜清拭	光熱水が復旧しだい入浴

(出典) 令和元年度社会福祉推進事業「社会福祉施設等における B C P の有用性に関する調査研究事業」

(提供) 社会福祉法人 若竹会 非常災害等対策計画 (一部抜粋)

補足14：連携体制の構築

【連携関係のある施設・法人】

施設・事業所・法人名	☎連絡先	連携内容(老健連絡会)
大宮ナーシング・ピア	686-1890	見沼区
きんもくせい	875-2000	緑区
あすか	687-7771	北区
ファインハイム	856-0001	桜区
高齢者ケアセンターゆらぎ	626-0660	西区
ソワフルミエ槻の森	758-2324	岩槻区
岩槻ライトケア	758-2330	岩槻区
アーバンみらいハートランド東大宮	682-7055	見沼区
みやびの里	668-1020	北区
ケア大宮花の丘	620-2400	西区
尚和園アンシャンテ	887-1340	緑区
トワーム指扇	620-6660	西区
高齢者ケアセンターのぞみ	680-1111	見沼区
あさがお	878-7188	緑区
エスポワールさいたま	812-1277	緑区
ル・サンク湯澤	622-8170	西区
七里	884-8201	見沼区
うらわの里	855-7811	桜区
埼玉県介護保健施設協会	049-285-5055	鶴ヶ島市
さいたま市介護保険課	829-1265	浦和区

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
浦和医師会	824-6811	医師派遣
小宮山歯科医院	832-3866	協定書締結

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容
さいたま市いきいき長寿推進課	829-1257	老健全般
浦和区役所高齢介護課	829-6153	地域包括事業

様式1：推進体制の構成メンバー

2024/04/01現在

担当者名／部署名	対策本部における職務（権限・役割）	
施設長(院長) 児玉 隆夫 内線:1500	対策本部長 (併設病院待機)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策本部組織の統括</li> <li>・ 緊急対応に関する意思決定</li> </ul>
副施設長 齊藤 篤志 内線:3102	対策本部長補佐 (老健施設) ※指揮命令権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策本部の立上げ及び運営</li> <li>・ 施設機能の維持</li> <li>・ 避難など、運営に関わる最終判断のサポート</li> <li>・ 埼玉県、さいたま市への報告、連絡、調整</li> <li>・ 消防機関との連絡、調整</li> <li>・ JCHO本部及び地区事務所への報告、連絡、調整</li> </ul>
看護師長 山崎 みどり 内線:2072	対策本部長補佐 (老健施設) ※連絡調整班責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設機能の維持</li> <li>・ 避難など、運営に関わる最終判断のサポート</li> <li>・ 利用者及び職員の人数、状況の把握</li> <li>・ 併設病院との連絡調整</li> </ul>
事務員 伊奈 沙織、高野 拓海 内線:3103/3100	連絡調整班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策本部長補佐の指示による各班・各係への指示出し及び連絡調整</li> <li>・ 情報の収集及び報告</li> <li>・ 併設病院との連絡調整</li> </ul>
副看護師長 甲地 美奈 内線:3300	救援救護班 (出勤の看護師)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急薬品の確保</li> <li>・ 負傷者の救援および応急処置</li> <li>・ 併設病院との連絡</li> </ul>
副看護師長 平山 幸子 内線:3200	設備点検班 (出勤の看護、介護職員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の安全確認</li> <li>・ 資材及び設備の転倒防止</li> <li>・ 窓ガラスの飛散防止</li> <li>・ ボイラー管理、防火、ガス、燃料の確保</li> </ul>
介護主任 藤井 栄二/石田 洋一 板子 砂織 内線:3200/3300	避難誘導班 (出勤の介護職員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行困難者の表示（担送、護送）</li> <li>・ 避難場所、避難経路の確保</li> <li>・ 利用者の避難誘導(逃げ遅れた者の搜索)</li> <li>・ 消防用設備及び危険物の点検</li> <li>・ 消火器等による消火活動</li> </ul>
主任ケアマネ 高柳 哲也 内線:3107/3108	情報班 (包括支援センター職員、 居宅介護支援事業所職員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣医療機関への連絡、調整</li> <li>・ 他の社会福祉施設との支援調整</li> </ul>
支援相談員・介護支援専門員 栄養士・リハビリ(PT、OT)	情報班 (出勤の介護)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行困難者の表示（担送、護送）</li> <li>・ 避難場所、避難経路の確保</li> <li>・ 利用者の避難誘導</li> <li>・ 逃げ遅れた者の搜索</li> <li>・ 消防用設備及び危険物の点検</li> <li>・ 消火器等による消火活動</li> </ul>
主任栄養士 西山 好紀 内線:2076	物資班 (出勤の職員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食料、飲料水等の備蓄の整備及び点検</li> <li>・ 食料、飲料水等の確保及び搬出</li> <li>・ 火気等の遮断の確認</li> </ul>



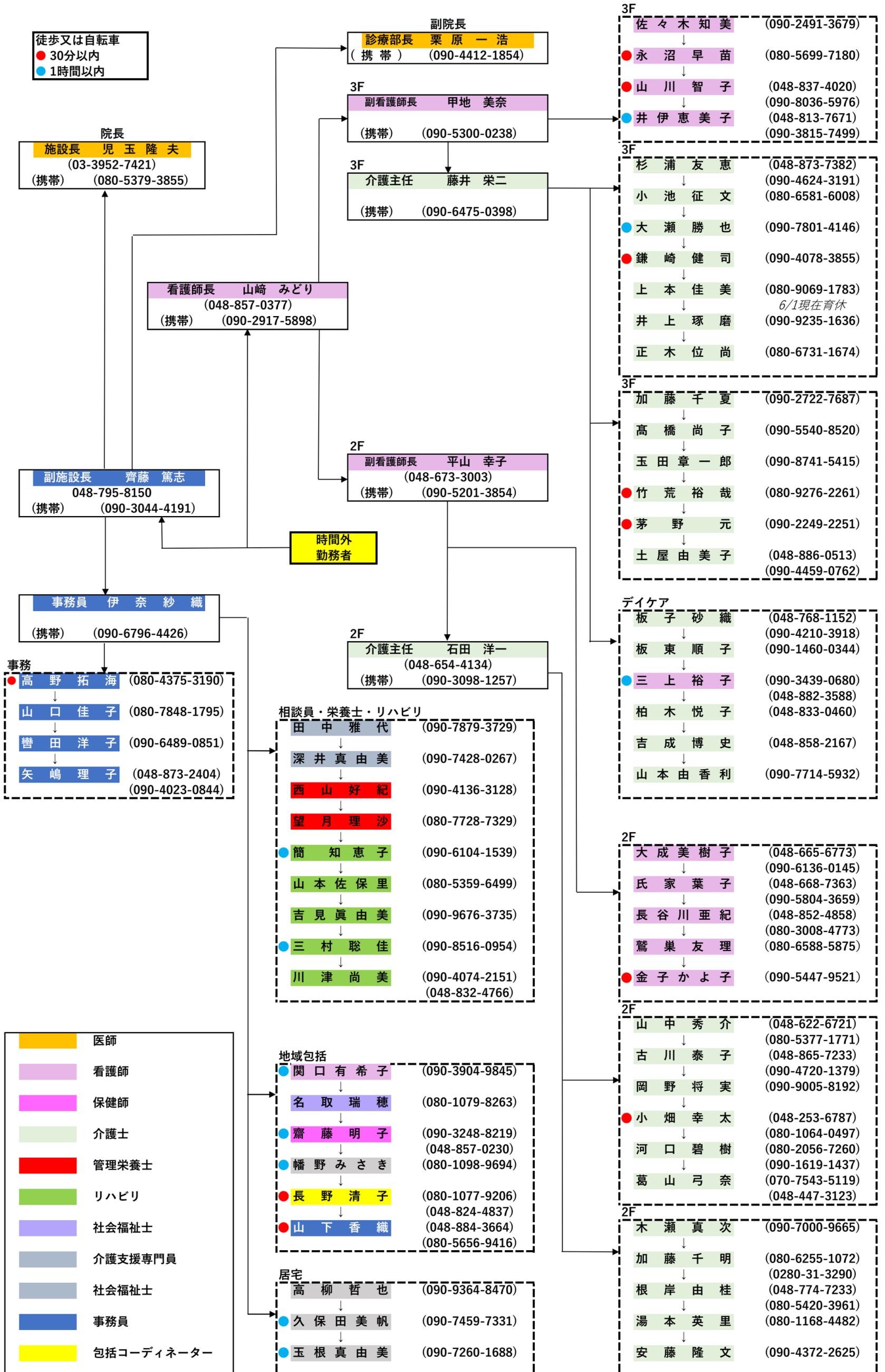
《設備等保守担当業者一覧》

保守内容・設備名	業者名	担当者	電話番号	備考
施錠侵入監視警備	ALSOK総合警備補償		0120-86-2413	
浴槽循環ろ過装置	株式会社 伸和	菅原	090-3691-0562	
			049-247-3562	
電気設備	齊藤電機管理事務所	齊藤	090-8892-0854	
			03-3903-9345	
ボイラー保守	株式会社 丹羽工業所	西澤	090-5408-5439	
		丹羽	090-3331-7660	
汚物除去機保守	日本アサヒ機工		03-3433-4611	
空調機器保守	ラガ・ワークス	小谷野	080-8049-9783	
			048-778-7744	
冷温水発生機保守	大岩マシナリー	益子	090-2427-8778	
			03-5735-8104	
電気錠修理	株式会社アート	片桐・河田	044-433-2269	
エレベータ保守	ジャパンエレベータービル		0120-365-493	
厨房機器	日本調理器	小澤	048-653-8251	
	マルゼン	緒方	048-861-9611	080-6559-9628
	フジマック		048-864-6301	修理048-866-7170
飲料自動販売機	コカ・コーラ		0800-919-0509	自販機No2906919075

※担当者等は変更になっている場合があります。

様式5：（部署ごと）職員緊急連絡網

氏名	部署	役職	電話番号	携帯電話		備考	氏名	部署	役職	電話番号	携帯電話		備考
				電話番号	メールアドレス						電話番号	メールアドレス	
児玉 隆夫	管理者	施設長（院長）	048-863-4133	090-1600-5698			板子 砂織	介護	介護福祉士	048-768-1152	090-4210-3918		
齊藤 篤志	管理課	副施設長		090-3044-4191			根岸 由佳	介護	介護福祉士	048-774-7233	080-5420-3961		
山崎 みどり	看護	看護師長	048-857-0377	090-2917-5898		半径2キロ圏内 徒歩可能	坂東 順子	介護	介護福祉士		090-5447-9521		
甲地 美奈	看護	副看護師長		090-5300-0238			田中 雅代	介護	支援相談員		090-7879-3729		
平山 幸子	看護	副看護師長	048-673-3003	090-5201-3854			深井 真由美	介護	支援相談員		090-7428-0267		
佐々木 知美	看護	看護師		090-2491-3679			西山 好紀	栄養室	主任栄養士		090-4136-3128		
永沼 早苗	看護	看護師		080-5699-7180		半径2キロ圏内 徒歩可能	望月 理沙	栄養室	栄養士		080-7728-7329		
山川 智子	看護	看護師	048-837-4020	090-8036-5976		半径2キロ圏内 徒歩可能	吉見 真由美	リハビリ	理学療法士		090-9676-3735		
井伊 恵美子	看護	看護師	048-813-7671	090-3815-7499			山本 佐保里	リハビリ	理学療法士		080-5359-6499		
大成 美樹子	看護	看護師	048-665-6773	090-6136-0145			簡 知恵子	リハビリ	理学療法士		090-6104-1539		
氏家 葉子	看護	看護師	048-668-7363	090-5804-3659			三村 聡佳	リハビリ	作業療法士		090-8516-0954		
長谷川 亜紀	看護	看護師	048-852-4858	080-3008-4773			川津 尚美	リハビリ	作業療法士		090-4074-2151		半径2キロ圏内 徒歩可能
鷲巣 友理	看護	看護師		080-6588-5875									
金子 かよ子	看護	看護師		090-5447-9521		半径2キロ圏内 徒歩可能							
三上 裕子	看護	看護師		090-3439-0680									
石田 洋一	介護	主任介護福祉士	048-654-4134	090-3098-1257			山本 由香利	非常勤	看護師		090-7714-5932		
藤井 栄二	介護	主任介護福祉士		090-6475-0398			安藤 隆文	非常勤	療養介助員		090-4372-2625		
木瀬 真次	介護	介護福祉士		090-7000-9665			土屋 由美子	非常勤	介護福祉士				
加藤 千明	介護	介護福祉士	0280-31-3290	080-6255-1072			柏木 悦子	非常勤	介護福祉士	048-833-0460			
山中 秀介	介護	介護福祉士	048-622-6721	080-5377-1771			吉成 博史	非常勤	介護福祉士	048-858-2167			
古川 泰子	介護	介護福祉士	048-865-7233	090-4720-1379									
岡野 将実	介護	介護福祉士		090-9005-8192			伊奈 紗織	管理課	事務員		090-6796-4426		
湯本 英里	介護	介護福祉士		080-1168-4482		半径2キロ圏内 徒歩可能	高野 拓海	管理課	事務員		080-4375-3190		
杉浦 友恵	介護	介護福祉士	048-873-7382	090-4624-3191									
小池 征文	介護	介護福祉士		080-6581-6008			高柳 哲也	居宅	介護支援専門員		090-9364-8470		
大瀬 勝也	介護	介護福祉士		090-7801-4146			玉根 真由美	居宅	介護支援専門員		090-7260-1688		
鎌崎 健司	介護	介護福祉士		090-4078-3855			久保田 美帆	介護	支援相談員		090-7459-7331		半径2キロ圏内 徒歩可能
上本 佳美	介護	介護福祉士		080-9069-1783									
加藤 千夏	介護	介護福祉士		090-2722-7687			関口 有希子	包括支援	管理者		090-3904-9845		
高橋 尚子	介護	介護福祉士		090-5540-8520			名取 瑞穂	包括支援	主任介護支援専門員		080-1079-8263		
小畑 幸太	介護	介護福祉士		080-1064-0497			齊藤 明子	包括支援	保健師		090-3248-8219		
玉田 章一郎	介護	介護福祉士		090-8741-5415			幡野 みさき	包括支援	社会福祉士		080-1098-9694		
正木 位尚	介護	介護福祉士		080-6731-1674			長野 清子	包括支援	看護師		080-1077-9206		
							山下 香織	包括支援	事務員		080-5656-9416		











【別紙シート】 様式6-災害(飲料・食品)

【別紙シート】 様式6-災害(飲料・食品)

## 様式6-災害：備蓄品リスト

## 【医薬品・利用者等介護材料】

No.	区分	品目	備蓄量		必要量	過不足量	単位	保管場所	担当者	調達先	備考
			規格	備蓄量							
1	医薬品	酸化マグネシウム 0.5 g	1 P	3				2 階及び 3 階物品倉庫	事務		
2		アジャスト A コーワ錠	1 T	29					事務		
3		マグミット 250m g	1 T	36					事務		
4		ピコスルファートナトリウム 10 m l	1 本	5					事務		
5		ピコスル錠剤	1 T	18					事務		
6		ケンエーG浣腸液 (60 ml)	1 本	4					事務		
7		レシカルボン座剤	1 個	13					事務		
8		蒸留水 20 m l	1 A	2					事務		
9		白色ワセリン 20 g	1 個	20					事務		
10		亜鉛華軟膏 20 g	1 個	10					事務		
11	利用者等 介護材料	アテントテープ止めタイプ S (763823)	1 箱 3 袋 22 枚	3				2 階及び 3 階物品倉庫			
12		アテントテープ止めタイプ M (763660)	1 箱 4 袋 20 枚	11							
13		アテントテープ止めタイプ L (763661)	1 箱 4 袋 17 枚	5							
14		テント R ケアうす型パンツ男 女共用 M - L (773635)	1 箱 3 袋 22 枚	3							
15		アテント R ケアうす型パンツ 男女共用 L - LL (773636)	1 箱 3 袋 20 枚	4							
16		アテント安心パッドスーパー 吸収 (773433)	1 箱 6 袋 54 枚	2							

## 様式6-災害：備蓄品リスト

## 【医薬品・利用者等介護材料】

No.	区分	品目	備蓄量		必要量	過不足量	単位	保管場所	担当者	調達先	備考
			規格	備蓄量							
17		アテント昼安心通気パッドふ つうタイプ (773111)	1箱 6袋 51枚	3				2階及び3階物品倉庫			
18		アテントSケア夜1枚安心 パッドふつうタイプ (773523)	1箱 4袋 30枚	19							
19		アテントSケア夜1枚安心 パッド多いタイプスーパー (773692)	1箱 4袋 24枚	24							
20		TENAコンフォート マキシ	1箱 2袋 56枚	10							
21		TENAフィックス プラスS	1箱 20袋	1							
22		TENAフィックス プラスM	1箱 20袋	1							
23		TENAフィックス プラスL	1箱 20袋	1							
24		ハビナース歯磨きティッシュ 1袋90枚入	1箱 24袋	1							
25		優肌パッド 滅菌	6x10cm 3x6cm	1							
26		ブレスロール	BR10 10cmx1 2m	1							

## 様式6-災害：備蓄品リスト

## 【医薬品・利用者等介護材料】

No.	区分	品目	備蓄量		必要量	過不足量	単位	保管場所	担当者	調達先	備考
			規格	備蓄量							
27		シルキーホア 11925 10コウ	10.0cm x10m ホ ワト	4				2階及び3階物品倉庫			
28		リモイスクレンス	17701レ ギユラー 180g	1							
29		滅菌ホスピタルカテーテル 00011257 8ホリ 2マイ/フクロ AS8-2	30cmx3 0cm	1							
30		デュオアクティブ ET10101	10cmx1 0cm	1							
31		スター舌圧子 44111 セイジノコウ	17mmx 150mm メッキン	20							
32		マイクロホア サージカルテープ 1530-1	25.0mm x9.1m	1							
33		ステリストリップ スキンロージヤ-R1547 6ホン/フクロ	12mmx 100mm シロ	1							
34		キャピロン 皮膚用リムバーワイプ	TP2 3mL コホ ウソウ	1							
35		テルモシリジカテーテルチップ型 カテーテル チップ	SS- 50CZ 50mL	9							

様式6-災害：備蓄品リスト

【医薬品・利用者等介護材料】

No.	区分	品目	備蓄量		必要量	過不足量	単位	保管場所	担当者	調達先	備考
			規格	備蓄量							
36		テルモシリンジ スリップ チップ ヨコグチ アカイオシコ	SS- 10ESZ1 0 10mL	20				2階及び3階物品倉庫			
37		ウカート プラス閉鎖式導尿バッグ 2500mLキヤクリュホ ウシハソツキ	UD- BE3112 P	4							
38		メテイセ-フフィットチップ	MS- FC030	1							
39		ナウ イサクションカテーテルキット 2535- 1240 12Fr シャフト35cm	4.0mmx 40cm	6							
40		WiSM7 ラスチックエプロン	61069- PA50P ピンク	14							
41		オキューハンエコ 環境派救急絆創膏 OQEM Mサイズ21x70mm	パット 13x22m m	1							
42		パード I.C.7ォーリトレイB 9960014LR 14Fr 10mL 2way	ラウンド ム バッグ PVI	3							
43		パード I.C.7ォーリトレイB 9960016LR 16Fr 10mL 2way	ラウンド ム バッグ PVI	5							
44		パード I.C.7ォーリトレイB 9960018LR 18Fr 10mL 2way	ラウンド ム バッグ PVI	3							
45		パード I.C.7ォーリトレイB 9960020LR 20Fr 10mL 2way	ラウンド ム バッグ PVI	1							

様式6-災害：備蓄品リスト

【医薬品・利用者等介護材料】

No.	区分	品目	備蓄量		必要量	過不足量	単位	保管場所	担当者	調達先	備考
			規格	備蓄量							
46		プッシュ綿棒P 2600211 No.12	1.5mL 1 本/パック	1				2階及び3階物品倉庫			
47		顔当て	6,007	1							
48		セフティセットアブリケター 55459 7003	メモリーシオン イリ	1							
49		ワイリーおしり洗浄液Neo本体	51300 1750mL シトラス	1							
50		スワブスティックヘキシジ 335- 110863 M	ヤクエキリョウ 3mL 1本 ン/ホウ	1							
51		サニナ薬用スプレー状おしりふき	048271 400ML	3							
52		アテントからだふき 733783(733596)	30マイ/ワ ク	9							
53		クーデックコネクティングチューブ FFCT- PA70M30 オートクレーブタイプ	7.0mmx 30.0m	4							
54		ワテール 060463 No.5 (シンチョウ)	5.0cmx 5m	2							
55		バルーンカテーテル オールシリコン T510- 16N 16Fr	10mL 2WAY セ イジ ンヨウ	3							
56		バルーンカテーテル オールシリコン T510- 18N 18Fr	10mL 2WAY セ イジ ンヨウ	2							

## 様式6-災害：備蓄品リスト

## 【医薬品・利用者等介護材料】

No.	区分	品目	備蓄量		必要量	過不足量	単位	保管場所	担当者	調達先	備考
			規格	備蓄量							
57		ハルンカテーテル オールシリコン T510-20N 20Fr	10mL 2WAY セ イジノヨウ	2				2階及び3階物品倉庫			
58		ハルンカテーテル オールシリコン T510-22N 22Fr	10mL 2WAY セ イジノヨウ	2							
59		マイクロファイブ <sup>®</sup> ラス	320136 32Gx4 mm	1							
60		BDマイクロファイブ <sup>®</sup> ロ	320559 32Gx4 mm	1							



利用者用(嚙下問題なし)

2023/12現在

	2F	3F	厨房(デイ分)	規格	購入数	購入先
パン(チョコ)	1ケース	1ケース	2ケース	ひだまりパン70g*36入	6ケース144個	ふくしま
ポテトツナサラダ	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`100g*24入	6ケース144個	ふくしま
おかゆ缶	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`200g*24入	6ケース144個	ふくしま
さんま甘露煮	2ケース	2ケース	2ケース	ベターホーム90g*24入	6ケース144個	ふくしま
おかゆ缶	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`200g*24入	6ケース144個	ふくしま
鶏肉のうま煮	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`70g*24入	6ケース144個	ふくしま

↑デイのみ1日目は全てシュレッダー室

パン(メープル)	1ケース	1ケース	2ケース	ひだまりパン70g*36入	6ケース144個	ふくしま
トマトのスープ	2ケース	2ケース	1ケース	カゴメ160g*30入	5ケース150個	ふくしま
おかゆ缶	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`200g*24入	6ケース144個	ふくしま
和風ハンバーグ	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`180g*24入	6ケース144個	ふくしま
おかゆ缶	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`200g*24入	6ケース144個	ふくしま
牛丼	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`180g*24入	6ケース144個	ふくしま

↑30しかないなので、フロアに取りに行く

パン(プレーン)	1ケース	1ケース	2ケース	ひだまりパン70g*36入	4ケース144個	ふくしま
南瓜のスープ	2ケース	2ケース	1ケース	カゴメ160g*30入	5ケース150個	ふくしま
おかゆ缶	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`200g*24入	6ケース144個	ふくしま
いわし煮つけ	1ケース	1ケース	1ケース	アルファフーズ`150g*50入	3ケース150個	ふくしま
おかゆ缶	2ケース	2ケース	2ケース	レスキューフーズ`200g*24入	6ケース144個	ふくしま
野菜カレー	2ケース	2ケース	1ケース	ハウス200g*30入	5ケース150個	ふくしま

36しかないなので、厨房からフロアに渡す ↑ ↑30しかないなので、フロアに取りに行く

水	27ケース	27ケース	16ケース	秩父の天然水2ℓ×6本	70ケース420本	AMサービス
---	-------	-------	-------	-------------	-----------	--------

		規格	購入数	購入先
ハーフ食付加ジュース	厨房食品庫にて管理	ジャネフ125ml*12入	24本	AMサービス

※予備の為どなたが飲用してもかまわない

利用者用(経管栄養)

		規格	購入数	購入先
ソフティアS	1F厨房食品庫にて管理	1ケース*12入	1ケース	ふくしま
ビーソリッド300	1F厨房食品庫にて管理	1ケース*16入	3ケース	バイタルネット
メイグット300	1F厨房食品庫にて管理	1ケース*18入	3ケース	ふくしま
メイグット400	1F厨房食品庫にて管理	1ケース*18入	3ケース	ふくしま

利用者用(嚙下問題あり)

	2F	3F	厨房(デイ分)	規格	購入数	購入先
酵素粥(プリン状おかゆ)	6缶	6缶	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース24缶	ふくしま
ハンバーグ	6個	6個	-	やわらか倶楽部70g*12入	1ケース12個	療食サ
酵素粥(プリン状おかゆ)	6缶	6缶	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース24缶	ふくしま
ビーフシチュー	6個	6個	-	やわらか倶楽部70g*12入	1ケース12個	療食サ
酵素粥(プリン状おかゆ)	6缶	6缶	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース24缶	ふくしま
里芋の煮ころがし	6個	6個	-	煮こごりシリーズ60g*12入	1ケース12個	ふくしま

酵素粥(プリン状おかゆ)	6缶	6缶	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース24缶	ふくしま
だし巻卵	6袋	6袋	-	おいしくミキサ-50g*12入	1ケース12袋	ふくしま
酵素粥(プリン状おかゆ)	6缶	6缶	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース24缶	ふくしま
クリームシチュー	6袋	6袋	-	おいしくミキサ-50g*12入	1ケース12袋	療食サ
酵素粥(プリン状おかゆ)	6缶	6缶	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース24缶	ふくしま
豚肉の柔らか煮	6袋	6袋	-	おいしくミキサ-50g*12入	1ケース12袋	ふくしま

酵素粥(プリン状おかゆ)	6袋	6袋	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース40袋	ふくしま
鶏肉のトマト煮	6袋	6袋	-	おいしくミキサ-50g*12入	1ケース12袋	ふくしま
酵素粥(プリン状おかゆ)	6袋	6袋	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース40袋	ふくしま
いわし梅煮	6袋	6袋	-	おいしくミキサ-50g*12入	1ケース12袋	ふくしま
酵素粥(プリン状おかゆ)	8袋	8袋	-	プリン状おかゆ95g*24入	1ケース40袋	ふくしま
照焼チキン	6袋	6袋	-	おいしくミキサ-50g*12入	1ケース12袋	ふくしま

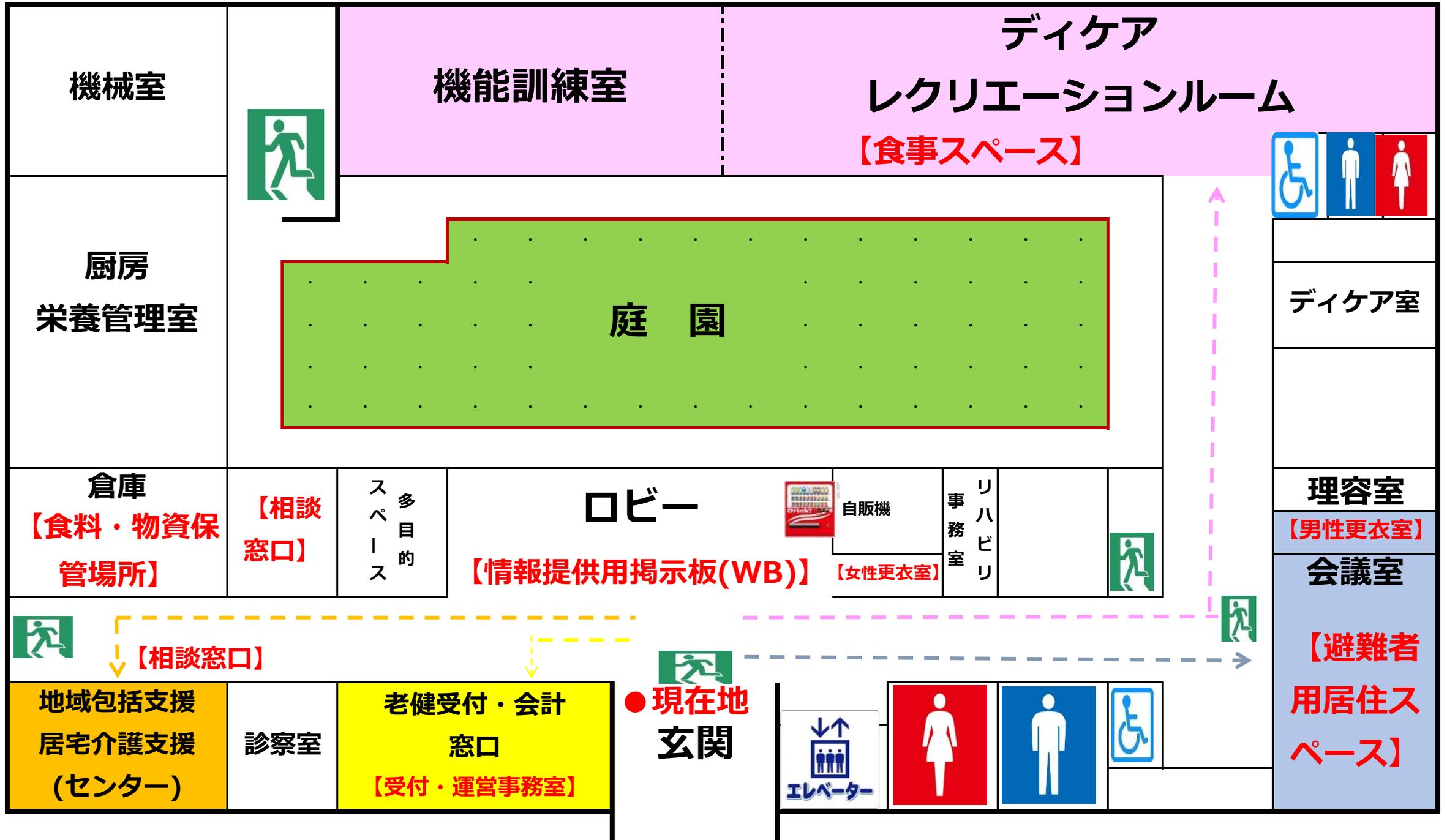
職員用(嚙下問題あり)

	規格	購入数	購入先
水(2L PET)	秩父の天然水2ℓ×6本	6ケース36本	AMサービス
ビスコ	ビスコ保存缶1缶×6P入り	3ケース30缶180P	ヘルシー
ご飯	尾西食品50食を60食に分ける	3ケース180人分	ふくしま
カレー	ハウス200g*30袋入	4ケース120袋	ふくしま
ビスコ	ビスコ保存缶1缶×6P入り	3ケース30缶180P	ヘルシー

	規格	購入数	購入先
水(2L PET)	秩父の天然水2ℓ×6本	5ケース30本	AMサービス
ビスコ	ビスコ保存缶1缶×6P入り	3ケース30缶180P	ヘルシー
ご飯	尾西食品50食を60食に分ける	3ケース180人分	ふくしま
シチュー	美味しい防災食250g*36入	2ケース72袋	ヘルシー
ビスコ	ビスコ保存用コンパクトタイプ1ケース×60P入り	3ケース180P	ヘルシー

	規格	購入数	購入先
水(2L PET)	秩父源流水2ℓ×6本/ケース	5ケース30本	AMサービス
ビスコ	ビスコ保存用コンパクトタイプ1ケース×60P入り	3ケース180P	ヘルシー
ご飯	尾西食品50食を60食に分ける	3ケース180人分	ふくしま
カレー	ハウス200g*30袋入	4ケース120袋	ふくしま
ビスコ	ビスコ保存用コンパクトタイプ1ケース×60P入り	3ケース180P	ヘルシー

# 1階



様式7-災害：業務分類（優先業務の選定）（災害用）

分類名称	定義	業務例	出勤率			
			30%(発災後6時間)	50%(発災後3日)	70%(発災後7日)	90%(21日)
業務の基本方針			生命・安全を守るために必要最低限のサービスを提供 徒歩で出勤可能者で対応 発災後数日、職員は施設泊	食事、排泄を中心 その他は休止または減 電気復旧(※)。道路仮復旧。 被災者出勤不可	一部休止するが ほぼ通常通り 応援者の支援あり	ほぼ通常通り 水道復旧。ガスはLPの想定
A:継続業務	・優先的に継続する業務 ・通常と同様に継続すべき業務	食事、 排泄、 医療的ケア、 清拭 等	食事(災害時メニュー、朝夕のみ) 排泄(オムツを利用) 医療的ケア(必要最低限)	食事(災害時メニュー、簡易食品) 排泄(ほぼ通常通り) 医療的ケア(ほぼ通常通り) 清拭	食事(ほぼ通常通り) 排泄(ほぼ通常通り) 医療的ケア(ほぼ通常通り) 清拭	食事(通常のメニュー) 排泄 医療的ケア(ほぼ通常通り) 清拭
B:追加業務	・災害復旧、事業継続の観点から新たに発生する業務	【インフラ対策】 電気用燃料確保、発電機の点検 飲料水、生活水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 【人員対策】 出勤者の確保、シフト調整 応援者の手配、教育 委託業務の提供中止に対する対応	電気用燃料確保、発電機の点検 飲料水、生活水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 出勤者の確保、シフト調整 施設内、法人内応援者の手配 行政、関連団体等への応援要請 給食、清掃、洗濯業務の見直し	飲料水、生活水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 応援者の受入、教育 法人内の玉突き支援 行政、関連団体等への応援要請 給食、清掃、洗濯業務の見直し	飲料水、生活水の確保 ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 職員の復帰に合わせ応援者の縮小 法人内の玉突き支援 行政、関連団体等への情報提供 給食、清掃、洗濯業務の正常化	ガスの調達 その他物資の調達。修理の依頼 職員の復帰に合わせ応援者の縮小 法人内の正常化 行政、関連団体等への情報提供 給食、清掃、洗濯業務の正常化
C:削減業務	・規模、頻度を減らすことが可能な業務	入浴、 機能訓練 口腔ケア 洗顔 洗濯 掃除 等	入浴(休止) 機能訓練(休止) 必要者に、うがい 洗顔(休止) 洗濯(休止)。ディスポシートで対応 清掃(感染対策のみ)	入浴(休止)。適宜清拭 機能訓練(褥瘡・拘縮予防) 必要者に、うがい 洗顔(必要者に清拭) 洗濯(必要最低限) 清掃(感染対策のみ)	入浴(休止)。適宜清拭 機能訓練(褥瘡・拘縮予防) 適宜口腔ケア 洗顔(必要者に清拭) 洗濯(必要最低限) 清掃(感染対策のみ)	入浴(ほぼ通常通り) 機能訓練(ほぼ通常通り) 口腔ケア(ほぼ通常通り) 洗顔(ほぼ通常通り) 洗濯(ほぼ通常通り) 清掃(ほぼ通常通り)
D:休止業務	・上記以外の業務		以下の休止 ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者に代わって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の休止 ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者に代わって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の縮小(実施回数の制限) ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者に代わって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会	以下の縮小(実施回数の制限) ・事務管理業務 ・研修、教育、各種委員会活動 ・レクリエーション ・利用者に代わって行う行政機関等への手続 ・利用者とその家族の交流 ・利用者の外出の機会

付随する短期入所事業(ショートステイ)について、介護者のレスパイトを理由とした利用を休止(縮小)する(在宅サービスの縮小による受け皿とする)

様式9：災害時利用者一覧表（安否確認優先順位）

出典：静岡県介護支援専門員協会。URLは、下記。

発災時に、優先的に安否確認の必要な利用者へ早期の対応ができるように、事業所内で事前に把握しておきましょう。 <https://shizuoka-caremane.com/page.php?pid=GR2ZA4P39S>

事業所名：

作成： 年 月 日

No	優先順位※			地域 区分	氏名（年齢）	住所(自治会)	想定される避難場所		特記	担当ケアマ ネ	安否確認 できた日
	医療・介護	環境	避難				避難所	介護・医療機関			
1	人工呼吸器	○	(高)	△△地区	介護 太郎(75)	◇◇市☆☆町(△△自治会)		□□病院	高齢世帯、妻は要支援者、古い民家 ALS、ストレッチャー移動、胃ろう、	佐藤	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											

※優先順位の「医療・介護」、「環境」、「避難」は、優先順位を決める際の基準項目であり、順番に意味はない。避難支援の欄には、独居→(独) 高齢世帯→(高) 日中独居→(日)と記載